2023・2024年度　公共ホール音楽活性化事業

登録アーティスト募集要項

■ 募 集 趣 旨

公共ホール音楽活性化事業を実施するため、事業趣旨に賛同するクラシック音楽の新進アーティストを募集します。

■ 選 考 日 程

［第１次選考］

内　　容：書類と音源（YouTube）による予備審査

応募締切：2022年５月10日（火）

［第２次選考］

内　　容：ライブ演奏及びトークによる本審査

日　　程：2022年７月28日（木）・29日（金）

会　　場：トッパンホール

合格予定数：６～８名／組 程度

■ 募集ジャンル 及び 応募条件

◆ 募集ジャンル

ピアノ、弦楽器（ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、クラシックギター、ハープ)、管楽器（フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、サクソフォン、トランペット、トロンボーン、チューバ、ユーフォニアム)、声楽（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス)、打楽器（マリンバ含む)、クロマティックハーモニカ、クラシックアコーディオン

◆ 応募条件

［ソ リ ス ト］

年齢条件(声楽以外)：2023年４月１日時点で　満20歳以上36歳以下

年齢条件(声楽)　　：2023年４月１日時点で　満20歳以上41歳以下

［アンサンブル］

編成条件：

・五重奏まで。(登録後のメンバー変更はできません。)

・弦楽四重奏、ピアノ三重奏（Vn、Vc、Pf)、木管五重奏、サックス四重奏のように、その編成のために書かれたオリジナルの楽曲が多くあり、多様なコンサートプログラムを組める編成であること。

・ピアノを含む編成の場合は、ピアノも伴奏者でなく固定メンバーであること。
（たとえば、Vn デュオなどピアノ伴奏の共演を前提とした編成の場合も、ピアノ奏者を固定メンバーとした編成となります。）

年齢条件：2023 年４月１日時点で　平均年齢満 36 歳以下
（ただし、満 20 歳以上 38 歳以下のメンバーで構成されていること。）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020-2022 年度はアーティストの登録期間を３年間としたため、今回の募集に限り年齢上限を１歳引き上げています。

◆ その他条件等

・電子楽器は対象外とし、原則として PA 設備を使用せずにプログラムを組める楽器とする。
・ご自分の楽器を持ち運んで活動できること。（学校や福祉施設等へ出向いて実施するプログラムを含むため、派遣先のホール・学校等間の移動が容易な楽器に限ります。）ただし、ピアノは除く。
・2022 年 10 月６日、７日に地域創造で実施するアーティスト研修会や 2023 年度と 2024 年度のプレゼンテーションをはじめとする当事業のスケジュールに対応可能であること。
（別紙「選考から派遣までの流れ」参照）

■ 応 募 手 続

応募者は、下記 URL リンク先地域創造ホームページ内の応募用紙に必要事項を入力の上、YouTube に限定公開にてアップロードした動画の URL と併せて、応募フォームより送信してください。

https://www.jafra.or.jp/docs/8076.html

※Google アカウントが必要になります。

地域創造応募フォーム
QR コード

◆ 提出音源（音源のみの審査となります。映像の有無は、審査に影響しません。）

・曲目指定なし。ご自分の実力を示すことができる曲を３曲程度提出すること。
・第１次、２次選考ともに自作曲は不可（出版されている曲に限る）。
・提出日より２年以内に録音/録画した音源であること。
・全曲を通して一つのトラックとすること。
・録音/録画機器の音声ボリュームの自動調整機能は使用しないこと。
・審査合否の通知があるまで削除はしないこと。また、合否通知到着後は各自で削除すること。

＊YouTube への動画アップロード方法は公式ヘルプページを参照してください。
https://support.google.com/youtube/answer/57407?hl=ja&co=GENIE.Platform%3DDesktop

YouTube 公式ヘルプページ
QR コード

■ 選 考 料

無料。ただし、第２次選考における会場までの旅費（交通費、宿泊費)、食費、共演者への謝礼等その他一切の経費は自己負担となりますのでご留意ください。

■ 選 考 方 法

［第１次選考］

書類と音源をもとに選考いたします。選考結果は 2022 年６月中旬に、合否に関わらず応募者本人に直接通知します。

審査員［敬称略］

現田　茂夫　（指揮者・神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者）
小川　典子　（ピアニスト、浜松国際ピアノコンクール審査委員長、国際音楽コンクール世界連盟理事、英国ギルドホール音楽院教授、東京音楽大学特任教授）
小澤　櫻作　（上田市交流文化芸術センタープロデューサー、公共ホール音楽活性化事業チーフコーディネーター）

［第２次選考］

第１次選考合格者を対象に実施します。

１～２曲程度の演奏（約 10 分間）と応募動機、当事業での抱負等についてのトーク（約 5 分間）をしていただいた後、質問をいたします。演奏順、会場への経路については、第１次選考合格通知に同封の資料を参照願います。

審査員［敬称略］

現田　茂夫　（指揮者・神奈川フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者）
小川　典子　（ピアニスト、浜松国際ピアノコンクール審査委員長、国際音楽コンクール世界連盟理事、英国ギルドホール音楽院教授、東京音楽大学特任教授）
山崎　伸子　（チェロ奏者、東京藝術大学名誉教授、桐朋学園大学特任教授）
杉木　峯夫　（トランペット奏者、東京藝術大学名誉教授、日本トランペット協会理事長、(公社)日本演奏連盟専務理事）
下八川　共祐（昭和音楽大学理事長、(公財)日本オペラ振興会常務理事、(公社)日本演奏連盟常任理事、(一社)日本クラシック音楽事業協会副会長）
小澤　櫻作　（上田市交流文化芸術センタープロデューサー、公共ホール音楽活性化事業チーフコーディネーター）
花田　和加子（ｋｅｙｎｏｔｅ代表、ヴァイオリニスト、公共ホール音楽活性化事業コーディネーター）

◆ 選考に当たっての留意事項

事業趣旨に鑑み、音楽的・技術的な能力はもちろんのこと次の点についての意欲を考慮して選考します。

・地域に音楽を楽しむ環境をつくるため、コミュニティとの交流を積極的に行う意志とアイデアがあること。
・当事業のスケジュールに柔軟に対応できること。
・多様な客層に対してアプローチできるプログラムが組めること。

■ アーティストの登録

２次選考合格者（６～８名／組程度）に対しては、基本的な登録条件などについて合意した後、2023・2024 年度の当事業のアーティストとして登録いたします。登録に際しては、マネジメントに所属していただくことになります。なお、地域創造では、登録アーティストを紹介する冊子（プロフィール集）を作成し、事業実施ホールなどの関係団体に配布・紹介する予定です。

■ その他

アーティストが地域に派遣される際は、共演者も含めて、当財団の旅費規程に基づいた交通費及び宿泊費、並びに一定額の出演料をお支払いします。